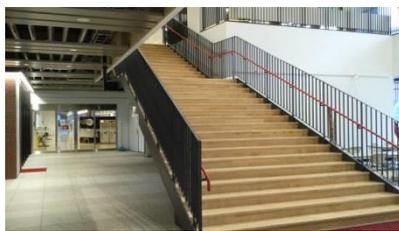


後期もラーニングコモンズで待っています☆

数学や物理に自信が無いまま工学部へ進学した皆さん、大丈夫です！ 100号館2階のラーニングコモンズでは、基幹教育センターのスタッフが数学や物理の個別指導を行っています。その日の授業でよくわからなかった箇所を質問してもOK！高校までで十分身につけていなかった部分を学び直したい人の支援要請でもOK！どうぞお気軽にご来室を。低学年次に十分な基礎学力を身につけて、本学をあなたの飛躍へのステップにしてください。



☆行き方： 100号館へ入って、右手の階段を上り、直進すると「ラーニングコモンズ」という部屋へ着きます。



入って左前方、いつも御厨先生みくりやのいらっしゃるカウンターの後ろが指導室です。



☆時間割表： ラーニングコモンズには次の時間帯に数学・物理の教員が詰めています。

		H28年度後期 基幹教育センター 担当時間割表		数学	物理学	
		機械システム	交通機械	建築・設備	情報ネットワーク	
			先端	自動車	1組	2組
月	1					
	2					
	3					
	4	巨海				
	5	野田				
火	1					
	2					
	3	諏訪辺 ※12:00-14:30・原 ※12:10-13:30				
	4	中村(文)・野田・江藤(徹)				
	5	中村(文)・野田・江藤(徹)				
水	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
木	1					
	2					
	3	諏訪辺 ※12:15-14:30・原 ※12:10-14:40				
	4	佐々木				
	5					
金	1					
	2					
	3	諏訪辺 ※12:00-14:30・原 ※12:10-13:30				
	4	佐々木				
	5					

■利用の仕方

- ・数学と物理の2科目を中心にサポートします。学年は問いません(但し、1年生を優先)。質問がある場合は、時間割を参考に100号館2階のラーニングコモンズに来て下さい。予約は必要ありません。
- ・学科毎に時間と担当教員を振り分けていますが、急な質問がある場合は限定しません。待機中の教員に気軽に声を掛けて下さい。
- ・授業中に指導依頼票を受け取った学生は、来室時に持参して下さい。

ユニバーサルデザインの理数教育を行う基幹教育センター

大学で工学を学び「ものづくり」を行う上で、数学や物理学は基幹となる科目です。本学の基幹教育センターは (i) 中学・高校の数学や物理が苦手だった人でも大学の授業についていけるように、専任の学習支援スタッフと授業担当者が個別指導で、大学の数学・物理学を基礎からしっかりと学修するためのサポートを行います。また、(ii) 多様な学習履歴を持つ学生を対象に、アクティブ・ラーニングや ICT を含む教材の研究・開発も行います。スタッフ一同、100号館2階 ラーニングcommonsで待っています！

基幹教育センターにおける活動報告(1)

基幹教育センター長 巨海 玄道

センターは開設されて約半年が経過した。この間の活動について報告したい。本センターの主な活動は数学と物理に特化して主に成績不振の学生の学習支援を行うということであった。従って対象は当初は1年生を主としたものであったが、いざふたを開けてみるとそれ以外の学生もいて、本学の学生が学びにおいて多くの問題を抱えているかを反映するものとなった。はじめの4月、5月は来訪者の指導記録などにおいて多くの混乱があったが関係者の努力により現在一

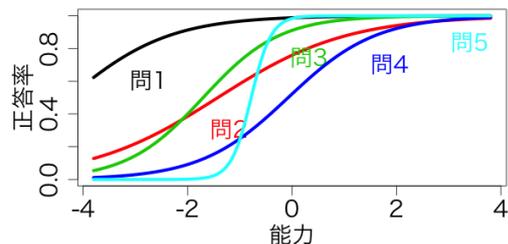
定の方向を見出している。これまでの学生の動向に関する簡単な分析結果から、以下のようなことが明らかとなった。6月と7月の2か月間の利用者数を見てみると大体80名であった。この数は1年生の4人に一人がセンターに来たことになる。この中ではほとんどの学生がリピーターとなっており所謂来訪者の延べ人数は200名を超えていたと考えてよい。更に学力については、入学時の成績下位の学生が成績を伸ばしていることが判明している。今後どのような成果が生まれるかは後期の指導も含めてさらなる詳細な検討が必要であろう。

研究報告アブストラクト

教育創造工学科 中嶋 康博・佐々木 良勝

今年度は1年次の数学の講義で、5学科共通の基礎的なテストを実施しました。右図はテストにおける各問題の特性を、項目応答理論で推定したものです。カーブが急なもののほど、受験者の能力判定に適します。

基幹教育センターでの活動に対し、解析結果の還元を



目指します。

研究会ご報告：“理数授業における ICT 機器の活用とアクティブ・ラーニング型授業の現状と将来について”

日程 8月10日(水)

目的 中学高校の先生方との意見交換

場所 本学100号館9階 ICT 教室

概要 講演および ICT 機器の体験会

連絡先 教育創造工学科

中村 文彦 (fumihiko@kurume-it.ac.jp)

野田 常雄 (noda@kurume-it.ac.jp)

科学研究費 基盤研究(C)「ユニバーサルデザインの物理教育」(研究代表者: 中村文彦 本学教授)による研究会「理数授業における ICT 機器の活用とアクティブ・ラーニング型授業」が、8月10日(水)本学100号館9階にて開催されました。

本学の今泉勝己学長による歓迎の挨拶後、午前中に高校現場でのアクティブ・ラーニングと ICT 機器利用の現状について3名の高校教員による講演が、午後か



らは2名の本学教員による大学での「アクティブ・ラーニング型授業」と「ICT 機器活用」に関する講演、そして、ICT 機器体験会が行われました。猛暑の中、福岡、熊本県の高校や大学の教員、教育委員会、ICT 関連企業、本学教員など40名ほどの皆さんに参加していただき、多方面からの様々な意見交換や白熱した議論がおこなわれ、有意義な研究会となりました。主催者一同感謝しております。